

宮本たかし 県政 NEWS

2016春号
Vol.19

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3 3F
電話
ファックス **0778-22-6633**

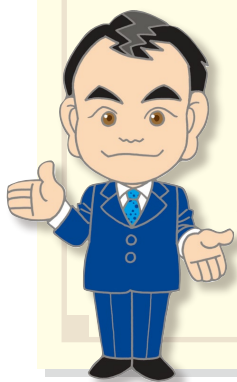


宮本たかしからのご挨拶

拝啓
や、と春らしい気候となって参りましたが、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。早いもので二期目の議員生活も一年を終えようとしております。四回の議会の中で全て質問に立ち、地域の課題を含め、県政を質す努力をして参りましたが、まだまたと思える所も多く反省している次第です。福祉、原発環境等々、厚生常任委員長として行った活動についても、本当に有言義であり、素晴らしい経験もさせて頂きました。二年目の活動となりますが、よりパワーアップした形で精進して参る所存です。今後とも温かい御支援とごぞよろしくお願い申し上げます。

宮本 俊

敬具



<平成28年度当初予算・平成27年度2月補正予算について>

今回の予算編成は平成27年度の2月補正と平成28年度の当初予算が一体的に行われ、議案についても2つ予算案が同時に審議の対象となります。2月補正は実行されなかった予算の減額補正なども多く見られるので、今回はこの1年のベースとなる予算である平成28年度の当初予算を中心に話したいと思います。

一般会計予算規模は**4,684億円**と27年度予算と比べ**41億円**の増加。伸び率は0.9%と前年並みの編成となっています。北陸新幹線など高速交通体系の整備促進や「ふくい創生・人口減少対策戦略」に基づく施策、国体の競技力向上等の分野を重点的に配分した予算となっています。

(単位：億円、%)

会計区分	28年度当初	27年度6月現計	増 減	伸び率 (%)
一般会計	4,864	4,823	41	0.9
特別会計	151	126	25	19.9
企業会計	369	356	12	3.5
計	5,383	5,305	79	1.5



今回はボリュームも大きいのでほんの一部ですが以下に気になったものについて記載します。尚、個別予算の詳細についてはhttp://www.pref.fukui.lg.jp/doc/zaisei/fukuikenyosan/yosangaiyou_d/fil/119.pdfで見ることができます。

1. 人口減少対策(U・Iターン推進)事業

- U・Iターン奨学金返済支援事業：県外大学生を対象に奨学金の返済を支援しU・Iターン就職を促進します。 3,100万円
- よろず来住者支援事業：県内企業に就職したU・Iターン者等に、住居費や研修費、開業までの一時金等を支援。 1,077万円
- 産前・産後安心サポート事業：現在、公的支援のない出産から1カ月検診までの母親に対する医療・生活支援を充実し、妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援を行う。 1,495万円

地方創生における人口減少対策は喫緊の課題です。自然増(出生率を上げ新生児の増加を図る)に関わる施策は短期的にすぐ効果が表れるものではない為、U・Iターン人口の増加が重要となります。奨学金を受けた大学生が就職できなかったり、できても生活が苦しくその返済ができないという問題が全国で起きています。この意味では返済に対する支援は大きな意味がある事業だと考えています。

2. ビジネス関連事業

- 新たな農業ビジネス創出事業：越前市白山地区に里地里山ビジネスを推進する人材の育成等を目指した「ふくい農業ビジネスセンター」を設置。 3億6,200万円(2月補正含む)
- 県民衛星プロジェクト支援事業：超小型人工衛星の製造や部材開発、衛星からのデータを使ったシステム開発を支援。 5,500万円
- サンドーム福井ものづくりキャンパス整備事業：サンドームにデザインセンターを移転、デザイナー、事業者等の人材育成や県産品の展示・販売をおこなう場の整備。 4億100万円

福井県の農業の課題は里地里山農業にあり、ということで県も本腰を入れてこの分野のビジネス育成に取り組むこととしました。地域コミュニティと密接に連携した取り組みを訴えていきたいと考えています。人工衛星については夢のある事業。成功すべくフォローしていきます。一方、金食い虫にならないよう成果についても注視していきます。

<2月議会一般質問／予算特別委員会>

今回は一般質問と共に予算特別委員会での発言の機会を得ました。地方創生という大きなテーマの下、福井をどう売り込んでいくかが大きな政策課題となっています。今回は売りベタだと評判の高い福井県政に対しどうやって売り込みを行っていくべきかという点を中心に質問を展開しました。(★が私の質問、☆が知事及び理事者の答弁、□内が解説です。)



★ 知事自身が民放キー局等に露出度を高め、全国の一般の方へ自らの言葉で福井へのU・Iターンや交流人口の拡大を呼び掛けていくべきと考えるが、知事の所見を伺う。

☆ 知事: 私としても、発信力のある有名人の方々とお会いする際に、できるだけ福井の良さをお伝えしております。そうした方々を通して福井の魅力が多くの人に伝わるよう努めてまいりたいと思います。自ら出演しないでやれるというのが、一番の最良の方法だと思いますが、また、いろいろとさせていただきます。



ふるさと納税など西川知事の政策力は非常に高く、福井には全国に誇れるものが多数あります。それほど社交的だとは思えない知事ですが、しっかりと自らの言葉で福井を宣伝頂きたいと思っています。自らが出演しないでやれるのが一番最良だと思う所が西川知事らしい所です。

★ 福井国体のバッジ着用が国体を成功させようという気持ちに現れるのではない。理事者のバッジ着用とそれに現れる国体への姿勢について伺う。

☆ 知事: ピンバッジの着用の有無が、国体・大会への関心の有無に結びつくとか、付けてないからそれをおろそかにするものではございませんが、今後、バッジや様々なグッズ、ウェアなどをその時々によさわしい形で活用しまして、職員が一丸となって国体・大会の気運醸成に努めてまいりたいと考えております。

一般質問の2日目、本会議場のひな壇には22名の方がいらっしゃいました。その内、国体のバッジを着けていらした方はなんと4名。これでは全庁体制で国体の気運を盛り上げると言っていることが本当そうなのかと疑問を持たざるを得ません。たかがバッジ、されどバッジです。この質問の後、部課長のみならず一般の職員の方のバッジ着用が多くみられるようになりました。バッジと共に国体をなんとか盛り上げようという気運が醸成してほしいものです。

★ 現在県にて品種改良を行っている「ポストこしひかり」の開発メリットを独占的に享受するため、具体的にどのような制度や法律をもとに開発者の権利を確保していくのか、所見を伺う。

☆ 知事: 現在のコシヒカリは国の委託にての品種改良であり、他県での作付を制限できなかった。今回の「ポストこしひかり」については福井県独自で開発しているので、種苗法に基づき品種登録をすることにより本県が開発者として25年間独占的に種を生産、販売する権利が保護される。県内生産者にこの生産を限るのかどうか、あるいはどの程度、販売先をどうするのか、という多くのことを開発者である県が判断して決めることができるので、これを有効に活用して移行してゆきたい。

福井県が売りベタだという県民感情は現在のコシヒカリが福井で開発されたにもかかわらず、その販売メリットが他県にて享受されているという点に原因があることが多いと考えます。今回は同じ轍を踏まぬようしっかりと権利の確保とその販売戦略を立てることが必要です。この事業は単に農業所得を上げるという点のみならず、このような県民感情の払しょくにもつながるものだと考えています。

宮本たかしダイアリー



越前市フェスタに参加されていた市薬剤師会の加藤会長と賀川さんと共に



民族衣装源流会の方々に着せて頂いた昭和書生風衣装でイベントに参加



総社通り商店街新年会終了後 役員の方々と



宮本たかしを育てる会 新春の集いにて



南地区自警消防隊連合会の出初め式に参加



建設中の新体育館を市体育協会で視察



JA越前たけふの方々と高木復興大臣を訪問。陳情活動



自民党武生支部の研修旅行で山崎参院議長議長公邸を訪問